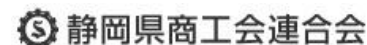


News Release



県下商工会と一体となり
小規模企業の支援を行っています

【令和7年12月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和7年12月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和7年12月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち35商工会より回答）【回収率100%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【製造業は小幅に好転するも、人手不足やコスト高等が重荷となり、年末需要は全体の押し上げには至らなかった】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-21.4（前月-17.2、前年同月-17.6）で、前月比4.2pt悪化した。製造業は小幅に好転したものの、食料品の仕入高騰や繊維・機械金属の人手不足が重荷となり、改善幅は限定的にとどまった。小売業やサービス業では年末需要の効果は一部に見られたが、全体の押し上げには至らず、先行きの不透明感が依然として残る。

【製造業】

業況は-14.3（前月-17.1、前年同月-17.6）と前月に比べ2.8pt好転した。自動車関連では先行きが不透明な中でも好調な市場への注力が見られた。食料品では仕入価格の高騰に対し値上げが追い付かず、年明けの価格改定を検討する動きがある。

【建設業】

業況は-22.8（前月-14.3、前年同月-20.6）と前月に比べ8.5pt悪化した。資材や人工費の上昇、人材確保難、金利上昇等の影響により新築受注は厳しい状況が続いている。

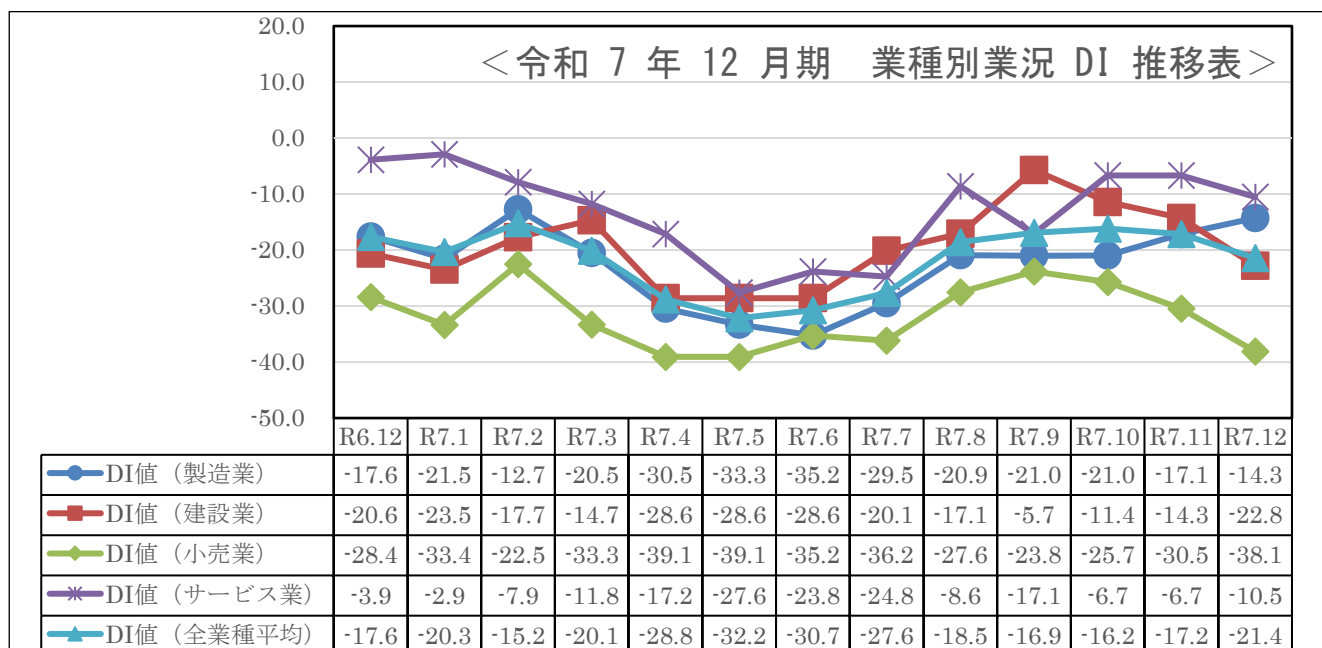
【小売業】

業況は-38.1（前月-30.5、前年同月-28.4）と前月に比べ7.6pt悪化した。年末年始需要で一部では売上を確保できたものの、価格転嫁が難しい状況が続いている。食料品では仕入価格高騰に一服感を示す声も聞かれた。衣料品では値ごろ志向等の影響で冬物が伸び悩んでいる。

【サービス業】

業況は-10.5（前月-6.7、前年同月-3.9）と前月に比べ3.8pt悪化した。旅館等では需要が堅調であったが、取引先の中国人観光客向けホテルの休業で売上が急減した洗濯業もみられた。

3 本調査に関する問合せ 静岡県商工会連合会 産業振興課 Tel.054-255-9811〔担当：増田・片平〕



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】（食料品製造業・繊維工業・機械金属業）

- ・自動車関連では依然として世界情勢が不安定で先行きが不透明な状況が続いており、好調なインドでの事業に注力していく方針である。（伊豆）
- ・食料品製造では昨年より仕入価格等が高騰するも値上げが追い付いていない。（富士駿東）
- ・繊維工業では人件費の増加や人手不足等が課題となっている。（中部）
- ・機械金属では製造現場で求職者不足や最低賃金改定への対応ができておらず、従業員を雇用できない事業所は役員等が業務を補完している状況が見受けられる。（中東遠）
- ・食料品製造ではもち米の高騰により「おもち」や「大福」等の採算が悪化しており、年明けから値上げを検討している。（西遠）

【建設業】

- ・仕入単価の上昇と人材確保難に加え、金利上昇により受注に至らないケースが増加しており、新築は困難を極め、受注がない状況である。（伊豆）
- ・資材価格上昇や技能者不足、住宅ローン金利上昇の影響による需要減退への不安が高まっており、代表者の加齢に伴い受注を縮小せざるを得ない事業者も見受けられる。（富士駿東）
- ・住宅や倉庫、車庫、事業用施設等の改修工事を行う小規模工務店や土木事業者を中心に受注は堅調である一方、職人の高齢化や人手不足が深刻化している状況である。（中部）
- ・燃料価格は下がったが、人手不足で事業が回らず、経営状況は改善されていない。（中東遠）
- ・建設塗装業では材料や人工代の上昇が続き利益率が圧迫されるが、転嫁できてない。（西遠）

【小売業】（衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業）

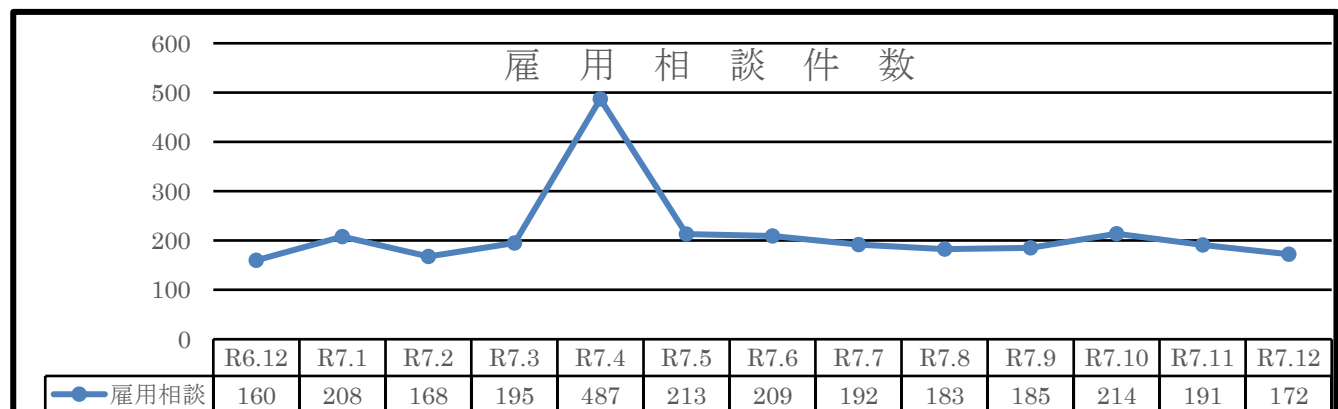
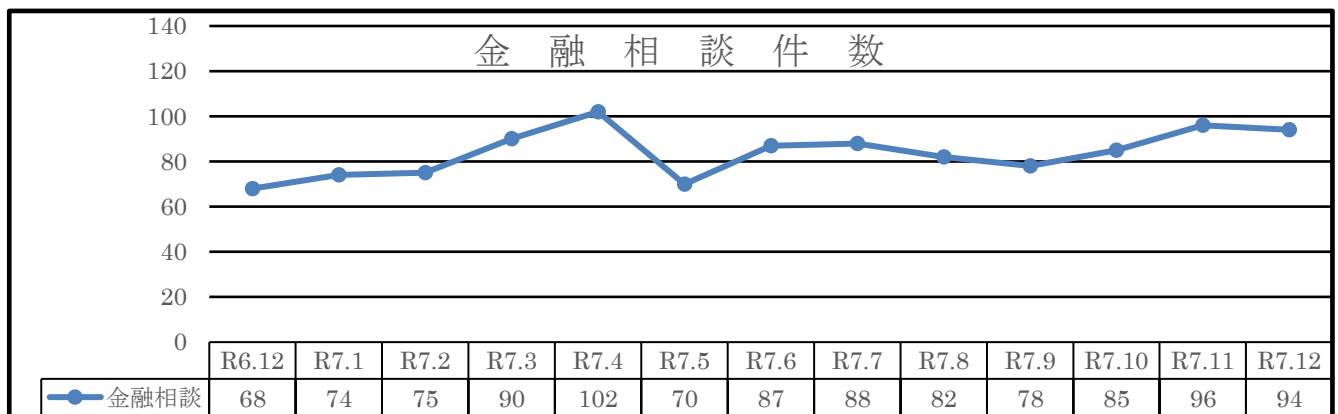
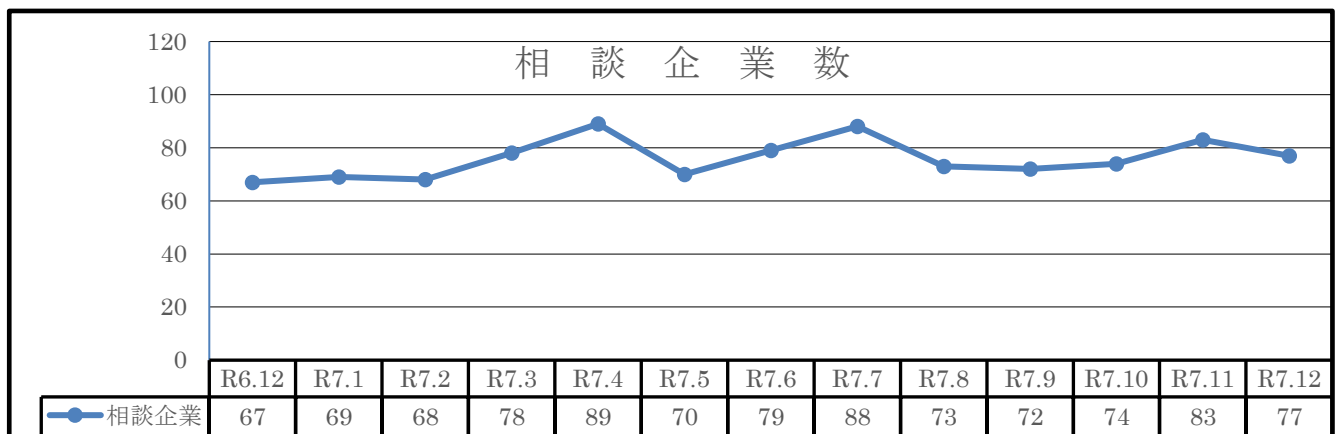
- ・衣料品では新商品が価格に直結するため、消費者は値下げ商品を好む傾向が続き、寒暖差の影響もあり冬物の販売は厳しい状況が予想される。（伊豆）
- ・社会情勢から一定の価格転嫁が行われているものの、人件費の上昇等もあり十分な転嫁ができておらず、小規模事業者にとっては厳しい経営環境が続いている。（富士駿東）
- ・年末年始の購買需要により売上および利益が増加した業種も見られ、仕入価格が上昇する中でも利益を確保できている状況である。（中部）
- ・耐久消費財では冬物家電の売上が好調であり今後もこの調子を維持していきたい。（中東遠）
- ・食料品では仕入価格の高騰等はひと段落ついたとの声が聞かれた。（西遠）

【サービス業】（旅館業・洗濯業・理美容業）

- ・旅館業では年末年始の大型連休と好天により宿泊客は前年比で増加した一方、忘年会利用客は前年比で減少した。中国人観光客の減少による影響はさほど感じられていない。（伊豆）
- ・旅館業では年末年始の大型連休において、年末の宿泊需要が年始を上回った。（富士駿東）
- ・小規模ゲストハウスの需要は、外国人を中心に高くなってきている。（中部）
- ・理美容業では年末の利用客が堅調で、翌年以降も継続が期待される。（中東遠）
- ・洗濯業では取引先が中国人観光客向けのホテルであり、休業した影響により売上が激減した。（西遠）

金融・雇用相談実績月次報告(令和7年12月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	77	83	-6
【金融相談件数】	94	96	-2
新規融資（借換えを除く）	73	73	0
既存債務の借換え	14	22	-8
借入れ条件変更	2	0	2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	1	4
【雇用相談件数】	172	191	-19



【金融相談】

金融相談件数は94件と前月(96件)に比べ2件減少した。一日公庫を契機にマル経融資の申込みが増加し、年末資金では新規・借換の融資実行支援が進んでいる。また補助金活用に併せた資金調達需要もみられた。

＜経営指導員コメント＞

- ・創業および新事業に係る融資相談は、緩やかながら増加傾向にある。(伊豆)
- ・急を要する融資相談があり、当月中にマル経融資の実行が決定された。(富士駿東)
- ・前月に実施した「一日公庫」相談会を契機に、マル経融資の申込みが3件あった。(中部)
- ・補助金申請に係る相談時、併せて資金調達に関する融資相談があった。(中東遠)
- ・年末の資金需要に伴い、マル経融資にて新規3件、借換3件の融資実行を支援した。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、172件と前月(191件)に比べ19件減少した。賃上げ幅や外国人雇用に関する相談が増加している。また特定技能1号の在留上限や2号への移行の難しさが定着の障壁となり、長期育成や処遇改善に踏み切りにくい状況である。

＜経営指導員コメント＞

- ・雇用保険等、従業員の就業に関する相談に適宜対応した。(富士駿東)
- ・外国人雇用に関する相談が増加傾向にある。(中部)
- ・従業員の賃上げ幅に関する相談が寄せられた。(中東遠)
- ・外国人雇用に関して、特定技能1号は通算5年までと在留期間に上限があり、能力や意欲が高く継続して雇用したい人材であっても、期間満了により雇用を継続できないケースが生じている。特定技能2号は長期雇用が可能であるものの、1号から2号への移行には高度な技能が求められ、現状では円滑な移行が難しい。そのため、事業所側も長期的な人材育成や処遇改善に踏み切りにくい現状である。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12/14(日)に「第49回河津寄って軽トラ市とテント市」を開催し、今回は合同開催のため新城市商工会、山形村商工会、白馬村等も出店したほか、JAの農機具販売等で会場が賑わい、天候に恵まれない中でも約1,200人の来場客があった。(河津町)
- ・12/7(日)に「とい山海フェア」を開催した。(伊豆市)
- ・12/3(水)～23(火)に川根本町電子クーポン「総額1,500万円分LINEクーポンプレゼント！」キャンペーンが開始され、年末需要の拡大に結び付いた。(川根本町)
- ・12/1(月)～15(月)までの15日間、「2025湖西・新居 歳末謝恩セール」が開催された。期間中に買い物をされた方には、参加店で使用できる共通商品券が当たる抽選券「ゆめ宝くじ」が進呈された。前年より4事業所が増加し、計62事業所の参加があった。(新居町)